委託事業実施内容報告書
平成28年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】
実施内容報告書

団体名： 株式会社アルーシャ

1. 事業の概要

事業名称	**都内在住在勤外国人が日常生活において必要な日本語、文化習慣・行政制度等を理解するための日本語教育**
事業の目的	日本に暮らす外国人は、日本の法律はじめ行政制度や文化、日本人の生活習慣が分からないため、災害発生や病気、交通事故などの緊急時の対応に困難をきたす方が多くいる。都内で生活する外国人の多くは、長年日本に暮らしていても、出身コミュニティーとの関わりは強いが、日本語が十分理解できないことから、日本人と関わる機会を持てず、必要最低限の常識を理解出来ていない。こうした外国人に向けた日本語講習を提供することで、地域における日本語教育を推進し、これにより地域の外国人の生活の安定向上を図り、地域との共生を図る。
日本語教育活動に関する地域の実情・課題	港区は国際色豊かで多様な外国人がおり、日本語講習をしている機関（法人）も多く、外国人への情報提供やサービスが他地域より充実していると思われる。しかし、外国人が日本において自立・安定した生活を営んでいくための具体的なプログラムを有している日本語講習は必ずしも十分ではなく、人口比率において考えると、日本語講習機関が多いとは言えない。既存の機関に通えない方々（難民やシェルターに暮らすハンディを負った方々等）を更に掘り起こし、「教育の空白」を埋める必要がある。港区はじめ都内在住在勤の多様な外国人に幅広く正確且つ迅速、公平に情報を伝達するためには（特に緊急時等）、情報アクセスの空白を埋められるような日本語教育指導が必要と思われる。
本事業の対象とする空白地域の状況	ー
事業内容の概要	・生活者の多様な場面（災害等の緊急時から日常生活においてまで）に対応した細分化された様々なプログラムを用意し、外国人の生活上の問題を払拭し、日本社会の一員として日本にとけ込めるような講習内容を提供する。 ・地域住民と共生して生活できるよう、外国人が理解する必要のある事柄を教育プログラムに盛り込む。 ・日本特有の商習慣、生活習慣等、外国人の理解が及ばない点や疑問を把握し、講習内容に盛り込む等、臨機応変且つ柔軟に教育プログラムを構築する。 ・自費で日本語学校に通うことが困難な方、就学が難しい方にもキメ細かい指導体制にて学習を促す。 ・外国人同士が日本語習得方法はじめ日本社会に統合するための秘訣を共有する取組を行い、外国人が孤立せず、日本語学習への意欲を増し、更には「共生」に繋げる。 ・シンポジウムの開催等により、成果を講習に参加できない外国人や地域住民等関係者にも情報提供する。 ・申請団体は、都内において外国人の自立・安定した生活を営むための支援活動を長年行ってきており、外国人の生活上の課題についての多くの情報を有しており、当事業を推進するのに有利な立場にある。
事業の実施期間	平成28年4月～平成29年3月 （ 12 か月間）

2. 事業の実施体制

（1）運営委員会

【運営委員】

1	川井　良訓	中小企業診断士
2	小門　謙	一般財団法人　港区国際交流協会
3	関口　幸一	元文部科学省大臣官房審議官 東武鉄道株式会社　取締役
4	山本　さやか	公益財団法人　アジア福祉教育財団 難民事業本部　RHQ支援センター
5	吉田　宗興	株式会社ブルームウィル
6	岩瀬　香奈子	株式会社アルーシャ
7	氏名	所属
8	氏名	所属
9	氏名	所属
10	氏名	所属

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成28年 5月6日(金) 17:00～19:00	2時間	株式会社アルーシャ	川井良訓、小門謙、関口幸一、山本さやか、吉田宗興、岩瀬香奈子	1. 昨年度の振り返りと今年度の事業方向性について、2. 取組参加者募集について、3. 取組内容について
2	平成28年 10月3日(月) 17:00～19:00	2時間	株式会社アルーシャ	川井良訓、小門謙、関口幸一、山本さやか、吉田宗興、岩瀬香奈子	1. 本年度事業進捗、2. 外国人に理解してもらいたい日本の慣習等について（戸外学習の活用）、3. 日本語講習の自立運営について、4. 今年度のセミナーについて
3	平成29年 3月14日(火) 17:00～19:00	2時間	株式会社アルーシャ	川井良訓、小門謙、関口幸一、山本さやか、吉田宗興、岩瀬香奈子	1. 本年度事業終了報告、2. 本事業における課題：・日本語講習にあたっての課題と対策（効率的な学習方法等）・ボランティア講師の組織化についての課題と対策、3. 日本語講習の自立運営について
4					

（2）地域における関係機関・団体等との連携・協力

連携体制	港区区役所（国際化/多文化推進）、港区国際交流協会、国際文化会館等の地域法人、住民、国際日本語普及協会等の日本語教育関係者、日本語教師はじめ、清泉女子大学等の教育者と広く連携し、外国人への日本語学習を促進し、外国人と日本人（地域住民）が共に生活し易い状況を達成する。 港区産業・地域振興支援部 国際化・文化芸術担当や、国際力強化推進ご担当の方々にも意見交換にご参加いただき、連携を深める。 また、港区男女平等参画センターの方々が目指す「多様化」＝ダイバシティーの点でも、協力体制を構築していけるよう考えている。 これらの機関や行政との連携により、港区はじめ都内の日本語教育の実情等を踏まえ、外国人の日本語能力の実態に即した講習の実施や指導を進める。また、連携により、継続的な実施体制を構築していく。

（3）中核メンバー及び関係機関・団体による本事業の実施体制

本事業の実施体制	日本語講習の内容については、参加生徒の1人1人に寄り添ったものとするために、テキストの選択や個別講習プログラム計画等を行い、指導者武末氏をリーダーとして、参加生徒に則した指導を他のボランティアの協力も得ながら行う。 参加生徒には、個別に日本語講習における目標を設定させ、日本語学習の理解力を深め、達成度を測定する等、日本語学習へのモチベーションと集中力を保つ仕組みを構築する（事業コーディネーターが主にサポートする）。 また、日本語講習をはじめ、本事業で重視するシンポジム等の全ての取組は、岩瀬が責任者として統括し、運営委員・連携委員等の関係者との協力の下、円滑且つ、当事業目的達成のため効果的に実施する。

3. 各取組の報告

＜取組1＞								
取組1	取組の名称	① 関係機関等の連携・協力を推進する検討体制の整備						
	取組の目標	地域の関係者が外国人への日本語教育の現状、目標、学習方法等の課題や対応策等について認識を共有し、連携・協力体制を構築する。延いては、関係機関が連携協力して地域の外国人の現状に則した日本語教育をより充実させ、地域住民と外国人の望ましい共生を図ることを目指す。 この取組を全国に発信し生活者のための日本語教育の重要性を訴え、その普及を図る。						
	取組の内容	外国人への日本語教育により、日本語習熟度を高め、地域住民と外国人が共生することを目指すため、港区国際交流協会、港区国際会館、早稲田大学、清泉女子大学等をはじめとする主要な機関、都内大学の大学教授またその学生、国際日本語普及協会等の日本語教育団体、港区区役所等と連携し、外国人への日本語教育を推進浸透させるべく連携委員会を設置し、協力体制を構築する。今回、実際に連携委員への就任が難しい方々においても、協力体制を築けるよう情報交換を密に行っていく。 将来的には、外国人が日本に暮らす際に生じる、言語や文化によるトラブル等を共有し、トラブルの回避方策、また国籍問わず協力し合える関係作りを如何に築いていくか、方法論にまで及ぶ議論と実践を行う連携体制設立を目指す。 これを踏まえ、日本語教育のあり方等について情報交換、意識の共有を図り、日本語教育に反映させる。						
	□	空白地域を含む場合、空白地域での活動	―					
	取組による体制整備	委員会設立にあたっては、目標が共有でき、同じビジョンを持つ方々を関係機関等から選出し、定期的に委員会（年2回程度）を開催することにより、方針と戦略を立案し、実践をフォローし、検証していく体制を整える。委員会については、構成員の見直し追加等を適宜行い、長期的にこの課題に取り組むための恒常的組織とする。						
	取組による日本語能力の向上	―						
	参加対象者	地域関係者、日本語教育関係者、都内在住外国人			参加者数（内 外国人数）	7人（1人）		
	広報及び募集方法	委員候補の方に個別に声掛けし、意図を理解していただき就任依頼をする						
	開催時間数	総時間 4 時間（空白地域 時間）						
	主な連携・協働先	港区国際交流協会、清泉女子大学、NPO法人未来をつかむスタディーズ、他						
	開催場所	株式会社アルーシャ 事務所（港区虎ノ門）						
	参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
		日本人6人（うち、ガーナと日本のミックスの方1人）、カメルーン人1人 ＊当初、合計8人と予定していたが、日本人1人（公益社団法人 国際日本語普及協会 専務理事 内藤真知子様）が海外転居により途中辞退。						

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年6月30日（木）14:00～16:00	2	株式会社アルーシャ	7	1. 事業概要説明、2.「関係機関等の連携・協力を推進する検討体制の整備」について意見交換	1. それぞれの委員が所属している組織での活動の中で当事業と連携できる企画を共同で行うことにより、将来に繋がる連携体制の構築を目指す。 2. 具体的な企画については個別に相談していく。	岩瀬香奈子（株式会社アルーシャ）	
2	平成29年2月28日（火）17:00～19:00	2	株式会社アルーシャ	5	1. 連携実績 / 実例を共有、2. 今後の連携発展について、3.「関係機関等の連携・協力を推進する検討体制の整備」について意見交換	1. 清泉女子大学他学生ボランティアとの交流・コラボレーション / 関東学院大学での受講者スピーチ等実績を共有、2. ①学生ボランティア、地域団体等とのコラボレーション、NPO等と連携し、効率的かつ効果的な学習方法を模索	岩瀬香奈子（株式会社アルーシャ）	
3								
4								
5								

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第1回　H28年6月30日】
議事録の通り:
連携委員のご紹介、当事業と当委員会の主旨・目的を説明し、「関係機関等の連携・協力を推進する検討体制の整備」について意見交換を行った。
・それぞれの委員が所属している組織での活動の中で、当事業と連携できる企画を共同で行うことにより、将来に繋がる連携体制の構築を目指す。
・具体的な企画については、個別に相談していく。
・現時点では、清泉女子大学ボランティアラーニングセンターと協力し、日本語講習に学生ボランティアが参加してもらうよう組織作りを開始したところ。
・エニジェ代表の矢野委員が企画しているダイバシティーを推進したイベントに日本語講習生が参加することで、日本で暮らすことを楽しみ、日本文化を理解する機会の提供に繋げる。・みらスタ代表の河内委員が行っている中学高校大学への授業等に外国人が講師として伺い、共生の相互理解を図る。
・港区国際交流協会とは昨年に続き、今年度も連携していく予定。
・当事業と各委員との個別連携のみならず、連携委員間においても良い形で協力体制ができることを期待。「日本に暮らす外国人と日本人との共生」という大きなテーマに向け、様々な形での連携協力を目指すことを確認。

〇取組事例②

【第2回　H29年2月28日】
議事録の通り:
連携実績・実例を共有（清泉女子大学の学生ボランティアについて / 早稲田大学大学院日本語学科（池上教授クラス）との交流・コラボレーション / 関東学院大学での受講者スピーチ等）し、今後の連携発展について検討（・他大学・大学院の学生ボランティアを募るか、・港区役所はじめ地域団体等とのコラボレーション企画の推進、・学習指導を行うNPO等と連携し、効率的かつ効果的な学習方法を模索他）。
他にも、「関係機関等の連携・協力を推進する検討体制の整備」について意見交換（・岡戸委員より:清泉女子大学の品川区との連携について情報をシェア、・矢野委員より:ガーナでの教育支援の取組について情報をシェア）

（2） 目標の達成状況・成果

各関係機関が情報交換を密に行い、連携を深めていることは大きな前進と言える。相互にPRし合い、日本語教育の必要性や普及を広く知らしめたことは成果だ。今回、大学関係者が委員として入り、学生ボランティア組成に踏み込めたことは大きな成果と考える。

（3） 今後の改善点について

当取組を開始したばかりで手探りの点が多かったが、方向性は間違いではなく、更に深められると良い。そのためにはより密な情報交換が必要と思われる。学生ボランティア組織を大きく広めることにより、増加する外国人移住者や来る東京オリンピックでの対応にも貢献できることと思われる。この流れを加速していきたい。

＜取組2＞

取組2

取組の名称	② 多様な機関等との連携・協力に基づく日本語学習機会の拡充
取組の目標	日本語学習を通じ、外国人が日本で暮らすことにおける様々なトラブルを未然に回避し、より生き生きとした暮らしと地域住民との共生を実現する。
取組の内容	地域の外国人が日本で暮らす中で、これまで遭遇したトラブル、疑問等をヒアリングし、且つ地域住民にも外国人との共生において気になること等をヒアリングし、必要であればテキストにまとめ、より役立つ実践的な講習会を開催する。具体的講習カリキュラムは、生徒の要望と日本語レベルを考慮し、柔軟に決定実施する。 具体的には、災害時、病気のときの対処法（例えば、ノロウィルスなど各種感染症や市販薬の解説）、事故や事件に遭った際の対処法（例えば、警察消防等の連絡方法やAED使用解説）、引っ越し、電気水道ガス会社との契約、市町村役所とのやり取り（行政関係の郵送物の意味解説）、健康保険と一般の保険の違い、年金、生活習慣（例えば、時間厳守、ゴミ出し、騒音問題、銭湯利用方法）、日本語オノマトペや諺、子育て関連情報、就労・労基法解説等の多岐に渡るテーマについて日本語講習を行う。
空白地域を含む場合、空白地域での活動	―
□取組による体制整備	1）外国人・地域住民からのヒアリング内容の整理（過去のトラブル等）、2）テキスト編集、3）日本語教育講習会の実施、4）自治体、国際機関等関係者との意見交換等による連携強化
取組による日本語能力の向上	日本語学習を通じ、外国人が日本で暮らすことにおける様々なトラブルを未然に回避し、生活に支障なく、より生き生きと暮らし、地域住民との共生を実現できるレベルを目指す。習得速度には個人差はあるが、生徒各人のレベルに合わせ、生徒自身の満足度も考慮し、実施する。
参加対象者	都内在住在勤外国人のうち、日本語また日本文化を充分に理解できていない外国人。特に自費で日本語学校に通うことが困難な経済状況である方に当取組広報を強化する。
参加者数（内 外国人数）	20人（20人）
広報及び募集方法	チラシを作成し、港区施設等において配布する。また、関係者の保持しているWebサイトにて発信したり、関係団体にチラシ（概要）を連絡（メール転送）。
開催時間数	総時間　120時間（空白地域　　時間）
主な連携・協働先	日本語講師、清泉女子大学ボランティアラーニングセンターと学生
開催場所	株式会社アルーシャ事務所（港区虎ノ門）

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル
	2				1			
	ミャンマー1、ギニア1、カメルーン1、コートジボワール1、エチオピア1、コンゴ1、フランス1、ドイツ1、チュニジア1、ソマリア1							

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年5月12日（木）17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	武末美央	岩瀬香奈子
2	平成28年5月17日（火）12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	武末美央	岩瀬香奈子
3	平成28年5月19日（木）17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	武末美央	岩瀬香奈子
4	平成28年5月24日（火）12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	武末美央	岩瀬香奈子
5	平成28年5月26日（木）17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	武末美央	岩瀬香奈子

6	平成28年5月31日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	武末美央	岩瀬香奈子
7	平成28年6月2日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	武末美央	岩瀬香奈子
8	平成28年6月7日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	武末美央	岩瀬香奈子
9	平成28年6月9日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	武末美央	岩瀬香奈子
10	平成28年6月14日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	8	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	武末美央	岩瀬香奈子
11	平成28年6月16日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	武末美央	岩瀬香奈子
12	平成28年6月21日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	8	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	武末美央	岩瀬香奈子
13	平成28年6月23日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	武末美央	岩瀬香奈子
14	平成28年6月28日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	武末美央	岩瀬香奈子
15	平成28年6月30日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	武末美央	岩瀬香奈子
16	平成28年7月5日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	武末美央	岩瀬香奈子
17	平成28年7月7日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	武末美央	岩瀬香奈子
18	平成28年7月12日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	8	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	武末美央	岩瀬香奈子
19	平成28年7月14日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	武末美央	岩瀬香奈子
20	平成28年7月19日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	8	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	武末美央	岩瀬香奈子
21	平成28年7月21日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	武末美央	岩瀬香奈子
22	平成28年7月26日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	武末美央	岩瀬香奈子
23	平成28年7月28日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	岩瀬香奈子	山本実奈枝
24	平成28年8月2日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	岩瀬香奈子	ニルカンシン
25	平成28年8月4日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	岩瀬香奈子	中嶋咲恵
26	平成28年8月9日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	岩瀬香奈子	ニルカンシン
27	平成28年8月16日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
28	平成28年8月18日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	岩瀬香奈子	菅原花奈
29	平成28年8月23日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	岩瀬香奈子	山本実奈枝
30	平成28年8月25日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	岩瀬香奈子	中嶋咲恵

31	平成28年8月30日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	岩瀬香奈子	菅原花奈
32	平成28年9月1日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	岩瀬香奈子	山本実奈枝
33	平成28年9月6日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
34	平成28年9月8日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	武末美央	岩瀬香奈子
35	平成28年9月13日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
36	平成28年9月15日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	武末美央	岩瀬香奈子
37	平成28年9月20日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
38	平成28年9月27日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
39	平成28年9月29日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	武末美央	岩瀬香奈子
40	平成28年10月4日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	岩瀬香奈子	ニルカンシン
41	平成28年10月6日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	武末美央	岩瀬香奈子
42	平成28年10月11日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	岩瀬香奈子	ニルカンシン
43	平成28年10月13日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	武末美央	岩瀬香奈子
44	平成28年10月18日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
45	平成28年10月20日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	武末美央	岩瀬香奈子
46	平成28年10月25日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
47	平成28年10月27日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	武末美央	岩瀬香奈子
48	平成28年11月1日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	岩瀬香奈子	ニルカンシン
49	平成28年11月8日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
50	平成28年11月10日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	武末美央	岩瀬香奈子
51	平成28年11月15日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
52	平成28年11月17日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	武末美央	岩瀬香奈子
53	平成28年11月22日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
54	平成28年11月24日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	武末美央	岩瀬香奈子
55	平成28年11月29日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	岩瀬香奈子	ニルカンシン

56	平成28年12月1日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	武末美央	岩瀬香奈子
57	平成28年12月6日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
58	平成28年12月8日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	武末美央	岩瀬香奈子
59	平成28年12月13日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
60	平成28年12月15日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	武末美央	岩瀬香奈子
61	平成28年12月20日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	9	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
62	平成28年12月22日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	武末美央	岩瀬香奈子
63	平成29年1月10日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	岩瀬香奈子	菅原花奈
64	平成29年1月12日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	岩瀬香奈子	ニルカンシン
65	平成29年1月17日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	武末美央	岩瀬香奈子
66	平成29年1月19日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	岩瀬香奈子	ニルカンシン
67	平成29年1月24日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	武末美央	岩瀬香奈子
68	平成29年1月26日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
69	平成29年1月31日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	武末美央	岩瀬香奈子
70	平成29年2月2日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
71	平成29年2月7日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	武末美央	岩瀬香奈子
72	平成29年2月9日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑧ 日本文化を知る	日本語講習⑧ 日本文化を知る	岩瀬香奈子	ニルカンシン
73	平成29年2月14日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	① 生活する	日本語講習①「ゴミの出し方＆分別＆自治体のお知らせ＆役所の手紙」	武末美央	岩瀬香奈子
74	平成29年2月16日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	② 住居探し＆住環境を整える	日本語講習②不動産会社について	岩瀬香奈子	ニルカンシン
75	平成29年2月21日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	③ 医療機関で治療を受ける	日本語講習③「病院にかかる時：問診票の書き方他」	武末美央	岩瀬香奈子
76	平成29年2月23日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	④ 薬を利用する	日本語講習④「地震・火事・ゲリラ豪雨等災害・防災について」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
77	平成29年2月28日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	武末美央	岩瀬香奈子
78	平成29年3月2日 （木） 17:00～18:30	1.5	株式会社アルーシャ事務所	5	⑤ 防災について	日本語講習⑤「交通事故に遭ってしまったら＆交通標識」	岩瀬香奈子	ニルカンシン
79	平成29年3月7日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	6	⑥ 事故に備え対応する	日本語講習⑥「事故にあったときの対応」	武末美央	岩瀬香奈子
80	平成29年3月14日 （火） 12:30～14:00	1.5	株式会社アルーシャ事務所	7	⑦ 仕事を探し得る	日本語講習⑦ 仕事を探し得る	岩瀬香奈子	ニルカンシン

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第2回　H28年5月17日】
初回は、昨年度から通っている学習者が、開講を楽しみにしており参加した。行政からの手紙を持参する方がおり、その内容を説明しつつ、日本の商習慣についての話にも展開。学習意欲が高いことが分かったが、前年度の日本語講習後、自宅に引き籠りがちな方もいたため日本語能力が落ちている方もいた。

〇取組事例②

【第80回　H29年3月14日】
最終講習では、講習会を延長し、個別に感想や目標達成等をスピーチした。全員、当初よりもかなり日本語が話せるようになっており、自信につながった様子。それぞれの目標（仕事を見付ける、日本語能力検定を受ける等）も達成できた方・できなかった方と様々だが、言語学習は継続性が大切なので、この意欲を維持して勉強してもらいたい。この講習会で講習生同士の友人関係ができたことも良かった。

（2） 目標の達成状況・成果

随時ヒアリングを行ったり、学習全般についての相談を受け付けることで、参加生徒の目標と意欲を確認し、取組全体の達成度を高めた。最後にアンケートを行い、高い満足度を得られた。途中でボランティア講師を含めたことは、良い刺激になった様子。ボランティア講師と年齢が近かったことが良かったのかも知れない。

（3） 今後の改善点について

生徒の日本語レベルが異なり、講師を1人の生徒に1人担当させられると、より生徒のレベルアップに繋がると感じた。が、一方では生徒同士が英語仏語はじめ助け合って理解を促す連携が生まれ（国籍を超え仲良くなり）、勉強に不慣れな生徒も楽しみながら通うようになり、その点は良かったので、「良さ」を活かしたまま効率的なレベルアップができるよう自宅学習の仕方等個別対応を今後は充実させたい。
ボランティア講師も含め講師それぞれで指導方法は多少異なるが、今後は学習者の意見も取り入れ、最適なものを探っていきたい。

＜取組3＞

取組3

取組の名称	③ 取組の成果の発信
取組の目標	地域住民が外国人の置かれている状況、立場、気持ちを理解し、また外国人の日本語教育の普及を促進するとともに、これに協力したくなるような催しを目指す。 本プログラムの成果だけでなく、日本語教育の意義、重要性を広く社会に発信することを目指す。
取組の内容	・シンポジウムを開催し、日本語教育が外国人の生活向上に成果があったことを、地域住民や講習を受講できなかった外国人に発信する。 ・日本語教育を受講した外国人自ら（代表者）がプレゼンテーションするプログラムを設け、直接的に成果を伝え、外国人への日本語教育の重要性を社会にアピールする。 ・更には、シンポジウム参加者に多文化理解、ダイバシティーを考えるきっかけを提供する。 ・シンポジウムでは、①日本語教育専門家の講演、②日本語教育講習を受講した外国人による発表、③パネリストによる講演とディスカッションを行い、それぞれの考えや状況を理解すると共に、日本語教育の意義と関係者間のより有益な将来的連携を参加者にも考えてもらう。 ・講師に著名人/タレント等を招き、一般市民の関心と理解を深めるよう努める。
空白地域を含む場合、空白地域での活動	―
□取組による体制整備	シンポジウム開催のための運営体制を整備し、シンポジウム運営への協力者・賛同者を広く募り、滞りなく計画実行する。参加者へのアンケート等も実施し、改善を図りながら、シンポジウムについても将来の継続を図る。
取組による日本語能力の向上	―

参加対象者	港区等の地域住民と外国人、他	参加者数 （内 外国人数）	40人 （7人）
広報及び募集方法	チラシを作成し、港区施設等において配布する。また、関係者の保持しているWebサイトにて発信したり、関係団体にチラシ（概要）を連絡（メール転送）。		
開催時間数	総時間 2 時間（空白地域 時間）		
主な連携・協働先	港区、外国人タレント所属の株式会社エクセリング、エニジェ他		
開催場所	株式会社アルーシャ事務所（港区虎ノ門）		

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル

ミャンマー1、カメルーン1、ギニア1、チュニジア1、ソマリア1、ガーナ1、イラン1

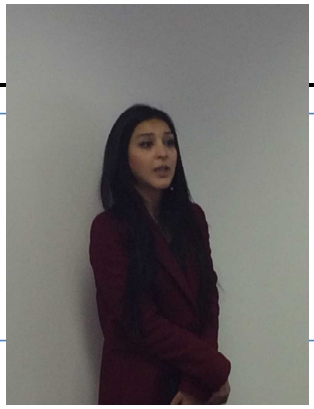
実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成29年1月5日（木） 15:00～17:00	2	株式会社アルーシャ事務所	40	「日本に暮らす外国人の日本語習得について」	講師に「外国人として日本で生きること」、「日本で自分らしく生きて夢を叶える方法」「共生～日本で日本人と仕事すること～」の講演。「多様性」「共生」を考える内容	岩瀬香奈子	寺尾有加
2								
3								
4								

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【H29年1月5日】
女優・タレントのサヘル・ローズ氏に「外国人として日本で生きること」、父親が日本人で母親がガーナ人の矢野デイビット氏による「日本で自分らしく生きて夢を叶える方法」のお話、ミャンマー出身のニル・カンシン氏には「共生～日本で日本人と仕事すること～」を講演。参加者と「多様性」「共生」を一緒に考える内容。



（2） 目標の達成状況・成果

予想以上に多くの参加者にご参加いただき、問題を共有できたことは大きな成果と言える。タレント活動や社会課題の支援を担う外国人を講師に招くことにより、日本語指導に元々関心のある方のみならず、幅広い層を集客でき、「日本に暮らす外国人が、こういうことに困っていたんだ」等、“気付き”があったことは良い収穫であった。アンケートを実施したが、多くの方に回答していただけ、また、ご満足いただけ、全体として良かったと言える。
今回、学生の冬休み期間に開催したことにより、中学生や高校生、その親子、教師等様々な方が参加してくださった。後日「帰宅後、一生懸命に父親に講演のことを話していた」等伺い、若い感受性の強い方には響くものがあったように確信した。

（3） 今後の改善点について

講演者を絞り、飽きない内容にしたことは良かったと思う。参加者からの質問が多数出たりディスカッションにも時間を割けた点も良かった。ただ、これを実現できたのも、参加者を40名程に絞ったからだと感じる。あまり大勢の参加だと、双方向の会にはできないので仕方ないが、講演内容は素晴らしく、多くの方に聞いていただきたい内容でもあった。今後、どういう工夫ができるか検討したい。

＜取組4＞

取組4

取組の名称	⑤ その他，これらに類するもの （「外国人による外国人のための日本語・文化講習」）
取組の目標	外国人同士が、日本語・日本文化を如何に学習しているか、学習プロセスの共有、習得のヒント等を学び合い、また学習意欲を高めること。更に、出身国の違う外国人同士の相互理解を高められることを期待する。
取組の内容	外国人同士が、日本語・異文化である日本文化を如何に学習しているかを体験談等を通じて、話し合えるような場を提供し、日本語習得のヒント等を学び合い、刺激し合い、更に学習意欲を高め合う。 講義形式で、外国人の方を講師とし（毎回違う方）、来日の経緯から、どうやって日本語を学習しているか等の情報共有を行う。講師も生徒も外国人で、双方向でディスカッションしながら進める。 例えば、日本人が英語を学ぶ際も、最初から外国人に学ぶよりも、同じ日本人から学ぶ方が効率的であることが多い（日本語話者はどの点を間違え易いのか、英語圏文化の理解なくしては、会話の理解も進まないことも多い等）。 また、同じ外国人が日本語を習得し、日本で活き活き生きている姿を見ることは「希望」になり、「自分にも出来る」と深く気付かせることができ、学習意欲に繋がる（日本人がいくら日本語を教えても、本人のやる気がないと習得が進まない場合が多いが、同じ外国人のメッセージは日本人の励まし以上に効果的である）。 更に、出身国の違う外国人同士の相互理解を高められることを期待する。外国人は日本では極端なマイノリティとなり、情報の隔絶も大きいが、出身国の違う外国人同士が情報交換し、情報共有が得られることは外国人と日本人（情報を発信する自治体、政府、地域住民等）双方にとって有益と思われる。
空白地域を含む場合、空白地域での活動	―
□ 取組による体制整備	1）外国人講師の選出、2）講義内容を決める、3）内容に応じてテキスト等資料を作成、4）将来は自律した組織体にしていけるよう、外国人同士のネットワーク構築をサポート
取組による日本語能力の向上	外国人同士による日本語学習を通じ、外国人が日本で暮らすことにおける様々なトラブルを未然に回避し、生活に支障なく、より生き生きと暮らし、地域住民との共生を実現できるレベルを目指す。 また、日本語学習へのモチベーション向上を図り、取組②の日本語講習との相乗効果を狙う。
参加対象者	地域に暮らす外国人 ／ 参加者数（内 外国人数）：5人（5人）
広報及び募集方法	参加者に難民等プライバシーの保護が必要な方が多く、口コミで宣伝
開催時間数	総時間 2 時間（空白地域 時間）
主な連携・協働先	日本語講師、学生ボランティア
開催場所	株式会社アルーシャ事務所（港区虎ノ門）

参加者の出身・国別内訳（人数）	中国	ベトナム	ネパール	韓国	フィリピン	インドネシア	タイ	ブラジル

ミャンマー1、カメルーン1、ギニア1、チュニジア1、ソマリア1

実施内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組テーマ	内容	指導者名	補助者名
1	平成28年12月22日（木）15:00～17:00	2	株式会社アルーシャ事務所	2	日本語を如何に学習しているか	学習者（外国人）が、「これまで如何に日本語を学習してきたか」、また日本に暮らしていて感じること等をスピーチする	武末美央	岩瀬香奈子
2								
3								
4								

（1）特徴的な活動風景（2～3回分）

〇取組事例①

【第1回　H28年12月22日】
学習者のカメルーン出身者とミャンマー出身者がスピーカーとなり、「日本語を如何に覚えたか」「日本に暮らして思ったこと、感じたこと」等をお話し、それについて、皆で話し合ったり意見交換を行った。
「テレビで日本語を覚えた」「仕事で日本語が必要だったので覚えたから、初めは「いらっしゃいませ」等の日本語会話から学習が始まった」等、現実的なスピーチで、日本語能力の低い方にも参考になった様だった。

（2） 目標の達成状況・成果

和気藹々としたスピーチの会となり、学習者それぞれが何かしらのヒントを得たようで良かった。もちろん、日本語習得は一朝一夕ではないが、それも含め、励まし合えたのも良かったようだ。また学習者の本音が聞けたことは指導する側（事業運営側）にとっても、非常に有益であった。
「スピーチ」と言うと、皆構えてしまい嫌煙してしまうが、このようなフランクな会ができたことは1歩前進と言える。

（3） 今後の改善点について

本来は、複数回開催したいと思っていたが、学習者の拒否感が強く1回のみの開催となってしまった。日本語で誰かに何かを伝える（説明する）というのは非常に難しいようだが、日本で暮らしていく上では大切なスキルなので、来年度も講習に組み入れる等、継続していきたい。

4. 事業に対する評価について

（1） 事業の目的・目標

日本に暮らす外国人は、日本の法律はじめ行政制度や文化、日本人の生活習慣が分からないため、災害発生や病気、交通事故などの緊急時の対応に困難をきたす方が多くいる。都内で生活する外国人の多くは、長年日本に暮らしていても、出身コミュニティーとの関わりは強いが、日本語が十分理解できないことから、日本人と関わる機会を持てず、必要最低限の常識を理解出来ていない。こうした外国人に向けた日本語講習を提供することで、地域における日本語教育を推進し、これにより地域の外国人の生活の安定向上を図り、地域との共生を図る。

（2） 目的・目標の達成状況・事業の成果

日本語講習会で、参加外国人のレベルに合わせた基本的な生活習慣等の講習会を行ったところ、「数年日本に暮らしていても知らなかった」という参加者からの講習会の有益さを伝えられ、参加者間の国籍を超えた仲間意識も生まれたことは、大きな達成と考える。また、連携委員のお陰で、港区国際交流協会、早稲田大学はじめ、港区産業・地域振興支援部等と情報交換ができ、相互に情報発信ができる体制を構築できたことも良かったことである。これを将来に繋げ発展させたい。セミナー（取組③）でも、日本語講習等に普段関心のない方々が参加し、外国人への日本語講習への理解を示してもらえたことは、画期的であり大きな達成と考える。

（3） 地域の関係者との連携による効果，成果　等

国際色豊かな港区において、弊社の取組を発信でき、日本語講習会には近隣勤務の外国人が参加した。参加者全員の母語が英語ではなく、平たい日本語を駆使した講習を行い、全体の日本語レベルが向上したように感じた。参加者のレベルが異なったため、テストを用いたレベル測定は行わなかったが、上級レベル者にはN2試験の問題を少しやらせたところ、漢字学習が進んでおり、「自治体からの手紙が読めた」とのことで、手応えを得た。また、様々な方にセミナーに参加いただけ、双方向のコミュニケーションが取れたことも大きな成果だと考える。連携委員のお陰で、複数の大学と関わりを強化したり、元港区副区長に説明の場をいただいたこと等も着実に継続して活動してきた成果だと考える。

（4） 事業実施に当たっての周知・広報と，事業成果の地域への発信等について

参加者への周知・広報においては、外国人を支援しているNPO法人と港区役所を中心に行った。無料で日本語講習を提供できるため、可能な限り経済的に余裕のない外国人に講習会の情報が届くよう努めた。また、事業成果の発信については、テレビ等で活躍している芸能人の講師に招く等で集客を募り、様々な方（これまで外国人の問題等に関心のなかった方々や学生等）に訴求できたと感じている。

（6） 改善点，今後の課題について

日本語講習に、一生懸命かつ前向きな気持ちで参加する外国人については、課題をクリアしつつあると感じ、方向性は良いものと思われる。ただ、参加者は至って少数であり、当地域全体の外国人数を考えると十分とは言い切れない。連携体制も、同様の目標を有していることもあり、協力し合う関係を築けた。
当地域在住在勤外国人の人数を考えると、もっと多くの方に日本語講習に参加してもらいたいと思うが、一方では、参加者の日本語レベルを分けないでの講習会は講師の負担も大きくなるため、参加者の満足度を高めるためには、マンツーマンに近い講習を行えると良いとも思える。
継続的に日本語講習を行いたいと考えているが、講師や運営をボランティアで賄うことは難しいため、継続性を考えると、来年度の当事業申請結果によって、運営体制は大きく異なるものとなる。

（7） その他参考資料